

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会 毎年3月31日 期末配当 毎年3月31日 中間配当を行う場合 毎年9月30日 (その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。)
公告方法	電子公告の方法により行います。 ホームページアドレス http://www.honyakuctr.com ただし、やむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
電話照会先	電話 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の本店および全国各支店で行っております。
上場証券取引所	東京証券取引所 JASDAQ スタンダード
証券コード	2483

■住所変更等のお申出先について

株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

■未払配当金の支払いについて

株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。

見直しに関する注意事項

この報告書には、翻訳センターグループの将来についての計画や戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれております。これらの記述は過去の事実ではなく、当社が現時点で入手可能な情報から判断した見込みであります。世界経済の動向、税制や諸制度などに関するリスクや不確実性を際限なく含んでおり、実際の業績や結果は当社の見込みと異なる可能性があることをご承知おきください。

個人投資家向け会社説明会(福岡) 開催案内

開催日	2013年12月6日(金)
時間	13:00~15:00
会場	福岡天神センタービル8階 M-3 (福岡県福岡市中央区天神2-14-8) アクセス 地下鉄空港線「天神駅」徒歩1分
お申込み先	エース証券 福岡支店 http://www.ace-sec.co.jp/news/seminar.html

ホームページのご案内

<http://www.honyakuctr.com>



当社ホームページにおきましても最新のトピックスをはじめ、様々な情報をご案内しております。

詳しくは ▶▶▶

第28期 中間期のご報告

2013年4月1日 ▶ 2013年9月30日





2013年11月
代表取締役社長

東 郁男

「すべての企業を世界につなぐ言葉のコンシェルジュ」として、事業領域の拡大と新たな価値の創造に努めていきます。

Q1 市場環境について教えてください。

A1 全体的な翻訳需要は引き続き増加傾向にあります。

翻訳需要は、分野や業種によって多少の変動があるものの、全体では増加傾向が続いています。政府の成長戦略を背景に日本企業のグローバル化がさらに進展すれば、さらなる需要増も期待できます。一方、インターネットでの低価格翻訳サービスや機械翻訳ソフトウェアの出現も見られますが、特許・医薬等の高い専門性が要求される分野で多様かつ膨大なドキュメントに高品質・短納期で対応する当社のハイエンドな翻訳サービスとは、ターゲットとする市場領域が異なると考えています。

Q2 当中間期の取り組みについて教えてください。

A2 アイ・エス・エスによる「第5回アフリカ開発会議」の運営やアイタスのローカライゼーション事業の一部譲受などがありました。

昨年9月にグループ会社化した(株)アイ・エス・エスは、6月の首脳会合「第5回アフリカ開発会議」の全体運営を成功裡に収め、8月には福岡支店を開設するなど、順調に業容を伸ばしています。主に通訳サービスを提供してきた同社と、翻訳サービスを提供してきた当社との間で、相互に顧客・サービスを紹介するクロスセルも進んでいます。また、IT翻訳専門会社である(株)アイタスのローカライゼーション/マニュアル翻訳事業の一部を6月に譲り受け、産業翻訳における最大市場であるローカライゼーション分野への本格参入も実現しました。

Q3 第2次中期経営計画の進捗はいかがですか。

A3 最終年度(2015年3月期)の数値目標「売上高100億円、営業利益7億円」は達成できる見通しです。

重点施策の一つ目「事業領域の拡大」は、アイ・エス・エスのグループ会社化を機に大きく前進しています。二つ目の特許・医薬・ローカライゼーション分野の「専門性の強化」は、特許明細書の翻訳から海外代理人の選定、取得後の特許権の管理・維持までトータルでサービスを提供するグループ会社の(株)外国出願支援サービスを通じて、拡大する海外での特許出願需要に積極的に対応して

いるほか、メディカルライティング業務の強化を通じた医薬品申請関連ドキュメントの制作体制や、翻訳需要が最も高いローカライゼーション分野の体制強化に取り組んでいます。また、自社開発翻訳支援ツール「HC TraTool」の活用を通じて、作業効率の向上や品質の安定化を図ると共に、通訳者・翻訳者の養成・教育にも注力し、「翻訳制作体制の増強」を図っています。

Q4 今後の展望はいかがですか。

A4 TPPや東京オリンピックなど、言葉に関する需要の増大が予想されます。

日本企業のグローバル展開、さらにはTPP加盟や2020年の東京オリンピック開催など、翻訳・通訳サービスはますます必要不可欠な業務となります。言葉に関する需要が拡大する中、当社は、翻訳・通訳サービスにとどまらず、「すべての企業を世界につなぐ言葉のコンシェルジュ」として、言葉に関する事業領域そのものを拡大し、新たな価値を創造してまいります。

株主の皆様におかれましては、当社事業についてご理解・ご注目いただくと同時に、今後も変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

Topics

アイ・エス・エスによる「アフリカ開発会議」全体運営とアイ・エス・エス福岡支店開設

アイ・エス・エスは、6月に日本で開催された国際会議としては過去最大級となる「第5回アフリカ開発会議」の全体運営を担当しました。また、8月には、東京について国内で二番目に国際会議の開催件数が多い福岡にアイ・エス・エスの支店を開設しました。グループとしての地理的なカバレッジが広がり、事業シナジーを発揮しながら着実に事業領域を拡大していきます。

アイタスより翻訳事業の一部を譲受

2013年6月、翻訳市場で最大規模となるローカライゼーション分野で高いノウハウを持つ(株)アイタスから、ローカライゼーション/マニュアル翻訳事業の一部を譲り受けました。豊富な経験と人的資産を活用しながら、制作体制の強化と顧客基盤の拡大を進めています。

当社グループの事業発展の流れと 言語サービス市場のポテンシャル

翻訳センターグループは、1986年に医薬専門の翻訳会社として設立以来、特許・医薬を中心に4分野で専門性をもつ産業翻訳をコア事業に、「すべての企業を世界につなぐ言葉のコンシェルジュ」として、言葉に関わるあらゆるサービスの提供を目指して事業領域を拡大しています。

企業のグローバル展開や政府が主導するインフラ・資源外交や対外文化宣伝・輸出政策「クールジャパン」の進展など、海外との取引や交流はますます活発化しています。さらに2020年には東京オリンピックの開催も決定し、交通機関などインフラ面での外国語対応も求められるなど、言葉に関わる需要はますます高まりが予想されます。

当社グループはすでに国内翻訳市場でトップシェア、海外ではアジア1位、世界12位というリーディングポジションを有しています。今後さらに拡大が予想される翻訳需要に付加価値の高いサービスで対応してまいります。

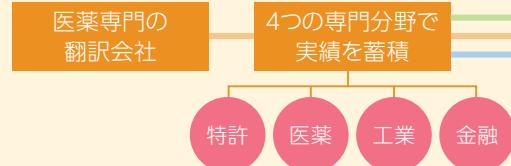
言語サービスの市場規模

コンピューター	33.6
科学・工業技術	22.0
特許	14.7
金融・法務	17.6
医薬・バイオ	9.2
出版	0.7
映像	1.1
その他	1.0



翻訳センターグループの事業展開

1986年
くすりの街 大阪・道修町で創業



言葉に関わるサービスはこんなに沢山!

- 駅** 案内版翻訳
- 企業** 企業向け翻訳 (特許・医薬・工業・金融) 人材派遣・紹介
- 出版翻訳** 海外小説翻訳
- イベント会場** 国際会議の企画・運営 翻訳・通訳



- 語学学校** 通訳者・翻訳者養成学校
- 交通サイン** 信号・交通案内などの翻訳
- 各家庭** ニュースや海外ドラマの翻訳
- 映画館** 字幕翻訳

業績ハイライト

売上高
4,184百万円 **↑38.2%**

営業利益
146百万円 **↑4.3%**

四半期純利益
70百万円 **↑1.2%**

営業利益率
3.5% **↓1.1pt**

自己資本比率
65.3% **↑1.0pt**

登録者数 (のべ)
5,881名 **↑527名**

事業別売上高

翻訳事業
2,890百万円

派遣事業
691百万円

通訳事業
242百万円

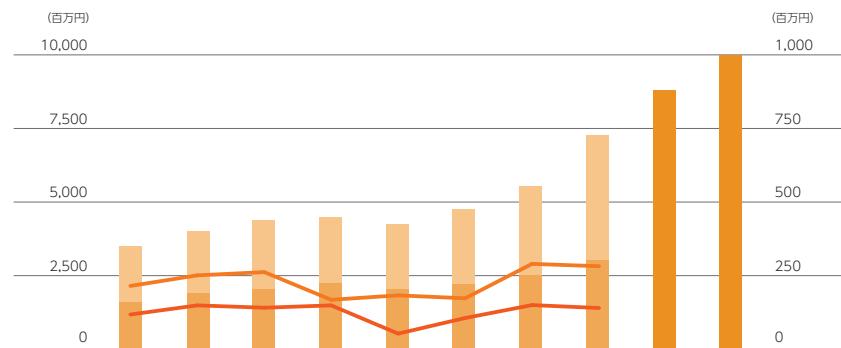
語学教育事業
112百万円

その他
246百万円



売上高と営業利益の推移と見通し

	2006	2007	2008	2009	2010	2011	2012	2013	2014(予想)	2015(予想)
売上高(上期)	1,598	1,913	2,049	2,226	2,039	2,196	2,502	3,027		
売上高(下期)	1,890	2,093	2,334	2,275	2,200	2,560	3,034	4,240	8,800	10,000
営業利益(上期)	118	149	141	149	53	106	150	140		
営業利益(下期)	215	251	262	168	183	173	290	282	470	700



※第2次中期経営計画最終年度

株式の状況 / 会社概要

株式の状況 (2013.9.30現在)

発行可能株式総数 5,140,000株
 発行済株式総数 1,684,500株
 (自己株式はありません)
 株主数 1,705名
 単元株主数 100株

大株主(上位10名)

株主名	株式数(株)
株式会社ウィザス	356,000
エムスリー株式会社	345,000
東 郁男	74,500
池亀 秀雄	51,800
RBC IST LONDON-CLIENTS ACCOUNT	44,500
浅見 和宏	44,000
日本証券金融株式会社	43,200
翻訳センター従業員持株会	38,600
角田 輝久	27,700
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	27,100

株式分布状況

個人/その他 45.45%
 その他国内法人 42.62%
 外国人 4.20%
 証券会社 3.53%
 金融機関 4.17%



会社概要 (2013.9.30現在)

商号 株式会社翻訳センター
 設立 1986年4月
 代表者 東 郁男
 本社所在地 大阪府大阪市中央区久太郎町四丁目1番3号
 大阪御堂筋ビル13階
 資本金 5億8,844万3,000円
 従業員 395名(連結)
 事業内容 翻訳サービス業
 関係会社 株式会社国際事務センター
 HC Language Solutions, Inc.
 北京東櫻花翻訳有限公司
 株式会社外国出願支援サービス
 株式会社アイ・エス・エス
 株式会社アイ・エス・エス・インスティテュート
 株式会社アイ・エス・エス・コンサルティング

役員 (2013.9.30現在)

代表取締役社長 東 郁男
 取締役 二宮 俊一郎
 取締役 浅見 和宏
 取締役 中本 宏
 取締役 楠見 賢二
 常勤監査役 妙中 厚雄
 監査役 松村 信夫
 監査役 大西 耕太郎